

鎌倉観光文化検定 1 級ガイドンス サマリー (要旨)

鎌倉観光文化検定 1 級ガイドンス

講師 原田 寛 氏

1. ガイドンスの趣旨

このガイドンスは、昨年新たに 1 級の試験が始まるにあたって、2・3 級が全問 4 択であるのに対し、記述問題など出題形式に異なる部分があるため、事前に出題方式などを説明するために設定したもので、対策講座ではありません。

従って、今年の場合はガイドンスを聞かなくても、昨年の問題を商工会議所の HP で見ていただければ、おおまかな想像はしていただけるものと思われれます (もちろん改善努力をしていますので、まったく同じ設問方式というわけではないと思われれます)。

2. 試験の全体像

1 級は鎌倉に関する正確で詳しい知識を求めるテストですが、入試問題のように振り落とすことを主眼としていませんので、過度にマニアックな出題はできるだけ避けるようにしているようです。

出題は全 60 問で、このうち 4 択問題が約 1/3 (20 問程度) で、残りの 2/3 (40 問程度) が記述式の問題になると予想されます。平均的な 1 級受験者でも、解答に 50 分近い時間が想定され、全問を見直す時間はほとんど無いと思われれますから、ケアレスミスに注意して慎重に解答してください。

また、今年から副読本の歴史年表からも出題されることになりましたので、ここからどの程度出題されるのか心配されている人もいらっしゃると思います。さまざまな出題方式の中に紛れ込んでいることがあり得ますので、厳密に何問とは言いきいのですが、おおむね 60 問中の約 1 割、5〜6 問程度に関係してくると思われれます。

3. 4 択問題

2・3 級の設問のように単純に正誤を問う問題だけではなく、多くの問題に若干の工夫が施されています。

例えば合戦とそれに関わる人物、作家名と寺院名、十井または五名水と寺

院名などの組み合わせの正誤を問う問題が出る可能性があります。また、事柄や場所、人物などについて記述された文章がいくつかある中で、「以下の源頼朝について書かれた文章のうち、誤っているものは幾つあるか」といったように、正しいものあるいは間違っものが幾つあるかを4択で答えるような問題も想定しておいてください。更に、何人かの人物やいくつかの場所などを並べて、正しい順番はどれかといった問題も想定されます。執権の順番や寺院の創建年、合戦の年代などの年代順を問う類です。

いずれにしても、2・3級のように消去法で正解を導くのは難しいので、やはり正確で詳しい知識が求められることとなります。また、写真を見て答える問題が昨年も出題されていますので、理想的には鎌倉を実地に歩くことをお勧めしますが、最低限テキスト掲載の写真については入念にチェックしておきましょう。

4. 記述式問題

あくまでも記述式で、論述式(〇〇について述べよ)の問題は出題されないでしょう。具体的には、ある文章の中に2箇所の虫食いがあり、そのカッコ内を埋める形式のものです。虫食い2箇所を両方正解して2点の配点になっていますので、片方だけ正解しても得点されません。

また、設問によっては漢字で記入せよと指示されていますが、この場合はテキストに記載されている漢字を記入しないと得点されませんから注意してください。鎌倉に関係の深い人物や書名、地名などの固有名詞を答えさせる場合に、漢字で記入せよという指示が入っています。あまりに常識的なものを除いて、一般名詞は漢字でも、平仮名でも、カタカナでも構わないという設問になっています。

そこで、「佛」日庵、「壽」福寺、「圓應」寺などのように、テキストでの表記が旧漢字になっている名称をチェックしておくのは当然ですが、ほかにも「太」平記、「大」平山の「太」と「大」の区別のようにまぎらわしい文字を明確にしておく必要があります。また虫食いの箇所が()「寺」となっているところに(建長「寺」)のように記入してしまうと、結果として建長「寺寺」のように「寺」の字がダブってしまいますから注意してください。その他では船「おろし」と船「祝い」、「潮」神楽と「汐」まつりなどを正確に書き分けられるようにしておきましょう。

ルビ（ふりがな）振り問題については、石清水八幡宮（いわしみずはちま んぐう）、光触寺（こうそくじ）、十二所神社（じゅうにそじんじゃ） 散在ヶ 池（さんざがいけ）のように、誤読しがちな単語を捜してチェックしておい てください。

5. 効果的対処法

有名寺院（鶴岡八幡宮、鎌倉宮、建長寺、円覚寺、高德院、長谷寺、光明 寺など）についてはキーワードを関連づけて覚えておくと効果的だと思われ ます。

建長寺を例にすると、日本初の禅専修道場、鎌倉五山第一位、開山は蘭溪 道隆（大覚禅師・日本初の禅師号）、開基は第五代執権北条時頼、梵鐘は国宝 で物部重光作、地獄谷（心平地蔵）、法語規則（国宝）、ビヤクシン（開山お 手植え）、葛西善蔵『おせい』、半僧坊などがつながっていれば解答のヒント になると思われます。

また、主要な歴史上の人物についても、同様の勉強法をおすすめいたしま す。どちらの例も、歴史、寺社、文化財、文学など、複数の章にまたがって いる項目があるため、このように一度整理しておくとう効果的です。

更に、出題者が実際に問題を作成するときのことを考えると、別称のある 寺（竜巻寺、萩寺、苔寺など）や別称のある仏像（頬焼阿弥陀、身代わり地 蔵、矢拾地蔵など）、伝説が残されているものなどは設問を作りやすいので要 チェックと思われます。

植物に関連した設問では、各植物を代表する寺社（たいていは各植物の項 の最初の方に記述されています）や、英勝寺のヤマブキのような伝説や史実 にまつわる植物、荏柄天神社の古代青軸や安国論寺の妙法桜のように名称の ある植物なども設問を作りやすいため、出題されやすい傾向がみられます。

その他では、滑川なら上流から順番に別称、ハイキングコースなら起点と 終点に沿線の史跡など、文学では書名、作者、舞台などを整理しておくとう 良いと思われます。

最後に、鎌倉は世界遺産登録を目指すまちですから、候補地を寺社、史跡 などのジャンル別に整理しておくことは忘れないでください。正誤問題の文 章のなかで、寺院や史跡の説明文に世界遺産候補であると記述されるケース と、「以下の中で世界遺産候補でないものはどれか」のような設問が可能性と しては考えられます。